

(別紙4(2))

事業所名: グループホームあずみ

作成日: 平成 24年 2月 16日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	入居者お一人、お一人とゆっくり向き合う時間が少ない。	入居者が安心して要望や思いを伝えて下さるような信頼関係の構築	①1日1回は全入居者と言葉を交わす。 ②バイタルチェック時の機会を利用し、ゆっくりと話を伺う。 ③職員同士が談笑するのではなく入居者を中心にした話題作りを行う。	6ヶ月
2	49	外出の機会が少ない。特に冬、夏。	気候の良い時にホーム行事に外出を取り入れ、楽しい時間を過ごしたい。	①外出を嫌う方以外、皆さん外出できるよう体力作りを行う。(立ち上がり、歩行運動など) ②散歩や軽い買い物等を通じ、外出に慣れて頂く。	6ヶ月
3	52	居室の生活環境を整える配慮に欠けている部分がある。	個々のスペースを大切にし、居室の生活環境を整え、居心地よく生活して頂く。	①毎朝の掃除の際、整理整頓し、汚れのチェック、危険因子の有無等確認する。 ②毎朝の掃除に加え、居室担当者は定期的に整理整頓等を行う。	12ヶ月
4	52	居室、フロアの換気、加湿、うがい、手洗い、消毒が不十分	具体的な取り組み内容が確実に実行でき、感染症等予防する。	①フロアは常時、空調機を使用し、毎朝の掃除の時間など、こまめに居室、フロアの窓を開け、換気をする ②可能な人には1日3回食事前の手洗い、食後のうがいをして頂く。	12ヶ月
5	13	外部研修を受ける機会が少ない。	すべての職員が研修を受け、スキルアップにつなげる。	①職員の自発性にだけ頼らず管理者からも積極的に研修の情報を提供し、シフト面も考慮する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。